

車両保険って必要？

2023 年版 有) 三宅保険事務所

1. 車両保険とは？

- ・車両保険は、事故による自分の車の損害（修理費用）を補償する保険です（他人の車に損害を与えた場合の補償は、「対物保険」です）。

	自損事故・盗難	当て逃げ 動物との接触	車との衝突	備考
①フルカバー（一般）	○	○	○	保険料は高い
②エコノミー（限定）	×	○	○	保険料は少し高い

*2023 年 1 月から、多くの保険会社で「当て逃げや動物との接触による損害」が、エコノミータイプ車両保険で補償されるようになりました(上の表の赤い○です)。

*①の方が補償範囲が広いため、保険料は高くなります。



2. 相手がある事故だと、自分の車の修理費も相手が払ってくれるのでは？

- ・追突など相手が 100%悪ければ、相手（の保険）がすべて払ってくれます。
- ・しかし、こちらにも過失がある事故の場合、「自分の過失分」はこちらが負担します。
- ・たとえば、車との事故で自分の車の損害が 100 万円、過失が 5 : 5 だったら、100 万円の 5 割である 50 万円は相手が払ってくれますが、残り 50 万円は自己負担となります。
- ・車両保険があると、自己負担の 50 万円が自分の保険（車両保険）から出ます。
- ・盗難や自損事故の場合でも、フルカバータイプであれば、保険金が支払われます。

3. 車両保険があったほうがよいのは、どんな場合？



下記の場合は、車両保険をおすすめします。

- ①ローンで買った車（盗難されたらローンだけ残ってしまいます）
- ②新車（6 年目くらいまで）
- ③高級車や希少車

簡単に言うと、**事故による修理で 100 万円以上の自己負担が発生する可能性がある場合は、車両保険はあった方が良い**です。なぜなら、5~10 万円の掛け金でその数倍の補償が得られるからです。「私は事故は起こさないから車両保険はいらない」と、新車なのに車両保険をかけずにいて自損事故を起こし、廃車となって 400 万円のローンだけ残ったお客様がいます。

4. 車両保険がなくて良い場合

上記の反対の場合、つまり車の価値が 50~100 万円以下になった場合は、車両保険がなくて大丈夫です。車両保険をつけるとしても、エコノミータイプで十分だと思います。